



国民の森林・国有林

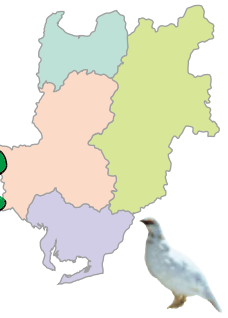
林野庁
中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5
☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

広報

中部の森林



メールマガジン登録で本誌記事や観光情報のデジタル版を毎月お送りします。
登録サイト：<https://mailmag.maff.go.jp/m/entry>



10月の見どころ聴きどころ②—行ってきました！せせらぎ街道（撮影11月1日）
（ペンネームMさんからの投稿）

主な項目	○ 本局のトピックス（国民参加で山づくり希望者を募集中 ほか）	P 1
	○ 各地からのたより（外国公館支援協議会が視察 ほか）	P 3
	○ シリーズ「ご当地自慢」（八ヶ岳 東信森林管理署）	P 9
	森林でのお仕事紹介コーナー	
	☆「森林官からの便り」（木曾福島森林事務所）	P10
	☆「森林・林業界からの便り」（信州上小森林組合）	P11
	☆「林業土木業界からの便り」（国土防災技術株式会社）	P12
○ 12月の見どころ聴きどころ	P13	

だと思った」などたくさん感想や意見が寄せられました。

中部森林管理局では、モニターの皆様からいただいた貴重なご意見を、今後の国有林野の管理経営に活かしてまいります。

地域の皆様との懇談会を開催

〔計画課〕

十月十三日(宮・庄川森林計画区)と二十七日(千曲川下流森林計画区)、平成三十一年度から始まる地域管理経営計画及び国有林野実施計画の策定に向けた地域住民との懇談会を開催しました。

この懇談会は地域の意見を計画に反映させるため平成二十年度から行っており、両計画区では三回目の開催となります。



黒姫森林官による間伐箇所の説明(千曲川下流森林計画区)

や取組について理解を深めていただくため、宮・庄川森林計画区では牛牧国有林内で実施されている間伐と造林の事業箇所、千曲川下流森林計画区では黒姫山国有林内の皆伐・間伐の事業実施箇所、ヒノキ複層林施業地などの見学会を行いました。

懇談会では、話題提供として、「平成三十年度中部森林管理局の取組」、「森林計画区の概要」、「流域における取組」について局・署担当者から説明を行った後、「国有林の森林づくり」、「国有林の保全と利用」の二つをテーマに有識者と参加者の対話方式で意見交換を行いました。

参加者からは「国有林を見学できて良かった」といった感想のほか、「国有林が地域の林業をリードしてほしい」といった意見が出されました。



造林事業箇所でのコンテナ苗植樹体験(宮・庄川森林計画区)

今後、懇談会を行った二つの計画区については、国有林に対する意見等を踏まえ、計画策定に当たった森林管理署の考え方を作成、公表し、広く国民一般からも意見を求め計画の策定に反映することとなります。

豪雨等災害復旧への対応

〔保全課〕

中部森林管理局管内国有林においては、数多くの公道等が通っており、貸付等により国有林が利用されています。

本年六月末から七月にかけての豪雨、台風等によりこうした道路等に被害が発生した中、早期の復旧工事等に協力しています。

とりわけ、飛騨森林管理署管内かみおどり上小鳥国有林を通過する東海北陸自動車道においては、切り土法面に大規模な亀裂等が発生する被害により一時通行規制が行われるなど、大きな影響が発生しました。

災害発生直後から、隣接する国有地、官行造林地への法面工事の拡大、工事実施に向けた進入路の



現地の状況(写真提供:中日本高速)

確保が必要であるとして、対応について相談がありました。国有地は保安林に指定されており、保安林解除、作業許可の手続きが必要箇所であるため、相手方の要望を確認し、どのような対応を取ることができるか、局、署が連携し調整を図る中で、貸付、保安林手続き事務等迅速に対応することにより、早期復旧に協力してきたところです。

この被害は、国有林への直接の災害ではありませんが、迅速な手続き等の協力を通じ、一日も早い復旧により地域、社会へ貢献できるように対応しています。

各地からのたより

外国公館支援協議会が

視察とマイ箸づくりを体験

「名古屋事務所」

九月二十日に、外国公館支援協議会が「熱田白鳥の歴史館」を視察しました。

外国公館支援協議会は、中部地域の国際化を推進するために在名古屋公館の活動を支援するとともに、新たな外国公館を誘致することを目的としているもので、今回、「木材」をテーマとして視察が行われました。

当日は、韓国、ブラジル、中国、アメリカ、イタリア（大阪）の総領事等、領事館関係者十三名が来館され、木島副所長から、名古屋にどのようなようにして木材が集まったのか、なぜ木材が「ものづくりの原点」となったか、などの説明を行い、その後、マイ箸づくりを体験しました。

輸出入に関心のある領事からは、日本の木材自給率に関する質問や、輸出材の用途についての質



職員から箸づくりをレクチャー

問が出されるなど、説明した内容以上の話題まで踏み込む有意義な時間となりました。

マイ箸づくりでは、初めて使うカンナに戸惑いつつも、自分で作った箸に感激されていました。参加者からは「自分の国のカンナは押すと削れるが、引いて削るカンナは初めて体験した」、「早速、明日から使います」などの感想が聞かれ、日頃、できない体験が大変好評でした。

今回の視察・体験では、名古屋が一大木材集積地で、現在の「ものづくり」につながったことや、木材利用などについて理解をしていただけたものと思っています。

森林総合監理士実践研修を開催

「森林技術支援センター・東濃森林管理署」

九月二十六日から二十八日の三日間、岐阜県中津川市で森林総合監理士実践研修を開催しました。この研修は全国七箇所で開催されるもので、中部ブロックでは木材生産及び再造林コストの削減を課題として、「架線を利用した伐採・造林作業システムと木材流通」をテーマに現地検討及び討議等行いました。

研修の受講者は、県職員や国有林職員など九県から二十名の参加



搬出計画の検討をする参加者



採材方法の説明に真剣に聞き入る

がありました。

研修は、一日目は、伐採・造林一貫システム、採材仕分けの講義の後、作業システムの机上演習、二日目は、前日の演習内容を現地確認、供試木で採材検討、苗木生産現場でコンテナ苗の現状、共販所での仕分け方法を踏まえ、作業システム・搬出方法、造林作業の省力化、採材の検討、三日目は、班ごとに作業システム等の発表と意見交換を行いました。

参加者の中には、集材機集材を経験したことのない方もおり、良い経験になったとの感想が聞かれました。

木地屋の里きのご祭りで 治山事業をアピール

「中信森林管理署」

十月十四日、新潟県糸魚川市大所の木地屋の里で毎年開催される「木地屋の里きのご祭り」に参加し、展示ブースを設置して、姫川治山事業所において実施している民有林直轄治山事業（復旧治山工事と地すべり防止工事）について理解を深めていただきました。

工事は市街地から離れた山間奥地で実施しているため、どのような目的でどのような工事を行っているのかを広く知っていただく機



治山事業を説明



子供クイズ、2本だよ～！

会とすべく例年参加しています。

今年は好天に恵まれ大勢の来客があり、展示ブースでは事業所の職員三名がパネル等を使って、森林管理署の業務内容や大所地区において昭和四十八年から行っている治山事業の内容に説明を行いました。

地すべり防止工事は集水井工などの作業風景、復旧治山工事は治山事業により崩壊地が復旧していく過程等を説明し、大人からは施工方法などの質問もあり、「家の近くにも治山施設があるが、集水井の中がこのようになっているとは思わなかった」との感想もあり

ました。

子供たちには、クイズを出題して森林に関する興味をもってもらいました。大人でも答えられないような解答もあり、出題者である職員も含めて盛り上がりました。今後とも地域と連携した取組を進める中で、地域の方々に森林の大切さ、治山事業の重要性などを知っていただきたいと考えています。

日中韓で、

森林空間の保養活動を考える

「保全課・木曾森林管理署」

十月十六日から十八日の三日間、「日本、中国、韓国による森林空間における保養活動推進フォーラム」（林野庁主催）が、長野県の信濃町や上松町で行われました。

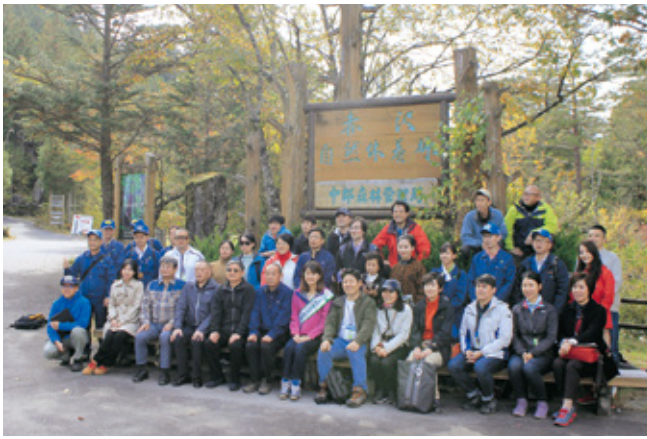
近年、日中韓三カ国において、森林空間での自然体験を「癒し」と捉えた森林の新たな空間利用の取組が進む中、専門家が集まり、取組実例や意見交換を行い、連携して森林空間の保養活動を推進していくことを目的に開催されました。

十六日には、信濃町の黒姫童話館童話の森ホールに、関係者、一般者約百五十名が集まり、行政・研究者・企業からの九つの活動事例報告を聞きました。クアオルト（健康保養地）における健康ウォーキングの事例では、歩行速度を調整し「つらくない運動」が効果的であることや、森林療法の事例では患者さんの病状に合わせたプログラムを作成することが重要であること等が紹介されました。意見交換会では、それぞれの国に向けたアドバイスも交わされ、今後の連携について確認されました。

来場者には、中部森林管理局が作成した「国有林おさんぽMAP」の冊子を配布しました。

十七日には、会場周辺にある遊歩道において健康ウォーキングの体験会が開催され、また、最終日には、「森林浴発行の地」として知られる上松町の赤沢自然休養林を各国研究者約四十名が散策しました。

中国の民間団体中国林学会森林療養会理事長の劉立軍リュウリツジュンさんは



赤沢自然休養林で記念撮影

「この場所は樹齢三百年以上のヒノキが広がり、森林浴発祥の地にふさわしい素晴らしい環境」と絶賛し、「中国でも健康に対するニーズが高まっている。森林セラピーは発展中であり、最先端の赤沢で学ぶため、大勢の中国人が訪れるだろう」と話されていました。韓国山林庁森林教育・治療課の事務官・金統一キム トウイさんは、ヒノキ林に感銘を受け「韓国では日本語の『ヒノキ』がそのまま定着し、香りもたらす効果が広く知られている」と話されました。

森林の大切さを学習

「飛騨森林管理署」

今回の森林浴体験を通じ、各国の森林を利用した自然体験やリフレッシュ、健康維持の増進に役立つことを期待します。

十月十九日、高山市立南小学校から、児童に対して森林の大切さなどを伝えてもらいたいと依頼があり、五年生を対象に森林教室を実施しました。

森林教室は、当署のほかにも高山市、岐阜県飛騨農林事務所と連携して行いました。

森林教室の内容としては、当署からは森林の働き、人工林の手入れ、高山市からは県産材の身近な利用について、岐阜県飛騨農林事務所からは、人工林の建築以外の用途で利用するものについて説明し、森林の水源涵養をテーマにした実験をそれぞれ行いました。

貯水機能、水の浄化機能等森林の働きを説明している時に児童たちが一生懸命メモをとる姿が印象的でした。また、説明が終わると



プロジェクターを使って分かりやすく授業

次々と手をあげ、「木の寿命は、何年くらい」、木を伐るのに資格はありますか」など質問が飛び交い、中にはその場での回答が難しいものもありました。

国有林見学会を開催

「南木曾支署」

十月二十三日、南木曾町吾妻の北蘭国有林の治山現場において、国有林見学会を開催し、地域住民十八名のほか、南木曾町長等を含め、合計二十一名の方が参加され

ました。

現地に向かう途中では、マイクロボスから見た砂防ダムと、治山ダムの工法と役割の違いや、国有林は、治山事業と間伐による森林整備事業の二つの柱によって、森林の持つ多面的機能の推進を図っていることを説明しました。また、現地では、山腹工・溪間工の施工目的や機能、三十年間の治山事業によって崩壊地から森林に復旧した様子等について、資料や現地に展示したパネルを使って説明した後、全員でドローンによる記



説明に使用したパネル



ドローンによる記念写真

念撮影を行いました。
参加者からは「このような山奥の治山ダムが私達を守っていることに驚いた」、「大変勉強になった」などの声が聞かれました。

南木曾支署管内の山々は、崩れやすい地質と急峻な地形、さらには降水量が多いなど厳しい条件下にあり、古くから幾度となく、至るところで地域に甚大な被害を及ぼす「蛇抜け」と呼ばれる土石流が発生している地域です。見学会を通じ、目立たない山の中で、地域の安全・安心の確保のため、不断の努力を積み重ねていること

を、地域の皆様に理解していただける良い機会になりました。

国有林作業現場

見学会を開催！

〔愛知森林管理事務所〕

十月二十四日、段戸国有林で当所管内市町村職員を対象とした現場見学会を開催しました。この見学会は、生産性向上実現プロジェクトに基づく実施箇所で、高性能林業機械などを活用した低コストで高効率な生産システムを構築し、作業日報の解析から作業の問題点を検証して改善している事例を紹介して技術や考え方を国有林へ普及する目的として開催したもので、総勢三十四名の参加者がありました。

当該事業を実行している新城森林組合から、作業システムや使用している高性能林業機械の説明を行い、伐倒から運材までの一連の実演作業を見学しました。

参加者との意見交換では、「定性間伐での選木基準は」、「樹種・経級により売り方、売り先は変えているのか」、「事業を実行している中で



スイングヤダー(左) による集材の様子

問題となっていることは」、「列状間伐の場合、集材線を斜め張りにするメリットは」、「本プログラムの取組結果の国有林への反映方法」など活発な意見が出され、有意義な意見交換となりました。

来年四月から国有林において新たな森林経営管理制度がスタートする中、地域、流域の関係者に本プロジェクトの取組を理解していただくことは、国有林としての国有林支援の一つになったものと考えています。今後もこうした取組を重ねながら民国連携の取組を進めていきたいと考えています。

未利用材の利用拡大に向けて

現地勉強会を開催

〔岐阜森林管理署〕

国有林では、森林資源の有効活用や、再造林時の地拵コストの低減などを目的として、林地に残置されていた枝条・端材等の未利用材（D材）の有効活用に取り組んでいます。今般、岐阜森林管理署の主催により、管内の生産請負事業体及び地域の立木販売業者等を対象に、D材の搬出や流通等についての現地勉強会を開催しました。

勉強会では、岐阜県瑞穂市で木質バイオマス発電施設を運営している（株）バイオマスエナジー東海及びバイオマスチップ集荷業者である（有）エコヤードギフにも参加をいただき、それぞれの立場から、自由活発な意見交換を行いました。

勉強会に参加した皆さんから出された意見のうち共通したものととして、「事前調整が非常に大切」というものがありました。これまでも未利用となっていた枝条・端材



瑞穂バイオマスパワー
(木質バイオマス発電施設)

等の集材・出荷行程は、既存の作業システムには当然ながら組み込まれていません。このことから、出材や運材等の関係者と事前に入念なコミュニケーションを取る必要があることは自明です。

今回の勉強会では、「中間土場等、林道に隣接した広めの土場に集積してほしい」というD材集荷業者側の意見と、「小まめに取りに来てほしい」という生産事業者側の意見など、様々な意見が双方から出されてきました。このような率直な意見を、腹を割って出し合い、「出来ること」、「出来ないこと」の摺り合わせを事前にしつかり詰めておくことが、未利用材

の利用拡大を推進するためのポイントの一つと考えます。

地元住民の方へ 民有林直轄治山を説明

〔岐阜森林管理署〕

十月二十五日、関市板取地区の「板取川民有林直轄治山事業地」で、岐阜県、関市の関係者及び地元住民を対象に現地説明会を開催しました。

当地では平成十四年七月の台風六号に伴う記録的豪雨により大規模な山腹崩壊が発生・拡大し、溪流が荒廃し下流域に多大な被害を及ぼしたため、地元から要望を受け平成十六年より民有林直轄治山事業として着手しました。その後平成十九年からほぼ毎年、この現地説明会を開催し、事業の進捗状況を実際に確認していただいています。

晴天に恵まれた当日は、関市板取事務所及び板取川温泉に集合したのち、まず「大ツゲ谷復旧治山工事」の現場を案内しました。

ここでは簡易法^{（のりやくこう）}砕工を主体に土留工や水路工を配置して森林への

復旧を図っていることや、簡易法砕工の施工手順を、また、当事業地で最大の山腹崩壊地（三・九八^{（ハ）}）では、植生マットと高強度の金網によって拡大崩壊を抑え、植生の導入を図っていることなどを説明しました。

参加者からは、「溪床までの距離は何メートルあるのか」といった質問や、「急傾斜地で大変な作業だと思う」などの感想が聞かれました。

「海ノ溝谷復旧治山工事」の現場では、現地の土砂とセメントを混合して作製した「ソイルセメント」を使用した溪間工について、その施工手順等を説明し、参加者



急峻崩壊地の大ツゲ谷復旧治山工事の現場
(上部より施工中)



海ノ溝谷復旧治山工事をバックに工事説明

からは「転圧はどれくらい厚さ毎に行うのか」といった工法に関する質問や、「粘土層の濁水は流下する、より一層配慮して欲しい」などの要望が出されました。

今回、いただいたご意見を事業に活かすとともに、今後とも地元への理解を得ながら民有林直轄治山事業を進めていくことを伝え説明会を終了しました。

D材販売で 造林コスト低減を目指し検討会

〔南木曾支署〕

十月三十日、南木曾町柿其国有林の皆伐跡地で、「D材販売と造林コスト削減に向けた現地検討会」を開催し、長野県の研究員を

はじめ、国有林の産物買受業者及び事業の請負業者並びに局署職員等、総勢二十九名の参加がありました。

初めに、現地検討会の意義や目的、資料について説明した後、伐採せずに残した沢筋の広葉樹の保残状況、昨年度から試行的に販売を始めたバイオマス発電用のD材の残存状況、自然に芽生えたアスナロの稚樹の状況等を説明し、現地を確認しながら、D材販売の推進や再造林コストの削減について、意見交換を行いました。

長野県林業総合センターの主任研究員からは「長野県の課題は、D材を処理する業者が少ないこ



D材搬出後の枝条の残状況を確認



現地を確認しながらの意見交換会

と」、また、丸太を生産する事業の請負業者及びD材の買受業者からは「D材の受け渡し箇所を双方で折り合うことが大切である」、「初めての取組であり、今後も試行を続けて検証したい」などの課題や意見が出されました。

南木曾支署管内の山は、急傾斜地が多く、架線を張って木材を林道まで搬出するなど、厳しい条件下にあります。今後D材販売と造林コストの削減の取組を続け、中部局モデルを確立するとともに、全国に向け発信することを確認し散会しました。

※D材とは山から木材を切る際に発生する枝や先端部分。

大きな円柱にビックリ!

治山工事現場視察を開催

「飛騨森林管理署」

十一月六日、岐阜県大野郡白川村内の大白川国有林において、白川村議会議長、議員及び役場関係者ほか計十四名が参加し、治山工事現場視察を行いました。これは、六月に開催した白川村長、議長及び議員との懇談会における「ぜひ治山工事現場を見学したい」との要望を受け行ったものです。

当日は、国有林野事業の各種取組を説明するとともに、大白川(間名古谷)復旧治山工事の向澤監督職員から工事概要について説明を行いました。

この工事は、通常広く行われているコンクリートを使用した治山ダムではなく、鋼板セルを用いた治山ダムを施工しています。円柱型の構造物内部には、現地にある土砂を利用できることから、多くの土砂が上流から流れてくる現地においては非常に有効な工法です。また、鋼板は工場で作ることからコンクリート養生に要す

る期間に縛られず工期の短縮ができるなど、冬期間は豪雪で作業ができない箇所にも有効な工法です。

参加者からは「現地発生材を使う自然にやさしい工法で画期的である」、「現地を訪れ構造物の大きさに驚いた」、「これまで見たことのない治山構造物の施工を見学でき、非常に有意義な視察であった」といった感想が聞かれました。

治山工事現場を見ていただくことにより、国有林野事業への理解を深めていただく良い機会となりました。



向澤監督員の説明。大きな円柱にビックリする参加者



雄大な八ヶ岳連峰（南佐久郡南牧村より撮影）

長野県と山梨県にまたがる八ヶ岳は主峰の赤岳（二、八九九メートル）をはじめ、横岳、硫黄岳、根石岳、さらには天狗岳と二、〇〇〇メートル級の峰々が南北に三〇キロメートルにわたり連なっています。八ヶ岳の誕生は一三〇万年前に始まり、噴火



苔の森（白駒の池）

や崩壊を繰り返して、現在の姿になつたといわれています。日本百名山にも数えられており、四季を通じて県内外から多くの登山者が訪れる人気の名峰です。硫黄岳と根石岳の中間に位置する夏沢峠を境に北側を北八ヶ岳、南側を南八ヶ岳と呼び、それぞれに対照的な特徴があります。北八ヶ岳エリアは、シラビソや、トウヒ、コマツガ等の木々が鬱蒼と生い茂り、苔の森が一面に広がり、天然池が点在する神秘的な区域です。

八ヶ岳を訪れるのにマイカーもいいですが、電車で訪れるのはいかがでしょう。近くを通るJR小海線には、日本で一番高い場所にある野辺



白い可憐なツクモグサ

稜線の途中にはコマクサ、ミヤマキンバイなどの花畑が広がり登山者を楽しませてくれます。また、本州では白馬岳と八ヶ岳で見ることのできないツクモグサにも出会えるかもしれません。八ヶ岳を訪れるのにマイカーもいいですが、電車で訪れるのはいかがでしょう。近くを通るJR小海線には、日本で一番高い場所にある野辺



主峰 赤岳

対照的に南八ヶ岳エリアは険しい山岳地帯で赤岳、横岳といった荒々しい岩稜が続き、登山好きにとっては絶好のコースとなっています。



※アクセスは、中央道、中部縦貫道各インターから。



J R 鉄道最高地点

山駅（一、三四五メートル）があり、カメラを片手に多くの鉄道ファンも訪れます。全国のJR鉄道の中で最も標高の高い場所（二、三七五メートル）もあります。



かわいい駅舎のJR野辺山駅

もり
【森林でのお仕事紹介コーナー（農林水産省林野庁）】
りんやちよう

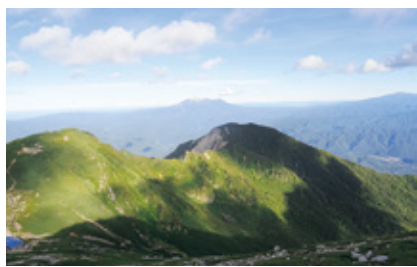
国有林と言えば現場、現場と言えば森林官！しかし、一般の方には余り馴染みがないと思います。そこで各地にある森林事務所や地域の特徴、森林官の仕事などを紹介していきます。



木曾福島森林事務所

首席森林官 古畑 正弘

木曾福島森林事務所は、木曾谷の中心地に位置する木曾町福島にあり、管轄する区域は、木曾町のうち旧木曾福島町、旧日義村、旧三岳村の国有林約七、七〇〇畝です。



駒ヶ岳山頂からの御嶽山（正面奥）

管内は、木曾町福島の里山である城山国有林（標高八〇〇メートル）から、木曾駒ヶ岳（標高二、九五六メートル）、御嶽山（標高三、〇六三メートル）と変化に富んだ山々であると同時に、木曾森林管

理署管内では珍しく小面積の国有林が十二箇所点在しています。

管内にある御嶽山の裾野に広がる



油木美林

る油木美林は、かつて尾張藩の御神木として守られてきました。樹齢三百年を超える大木が生い茂る森には、遊歩道が整備されており、不易の滝・こもればの滝や百間滝などを眺めながら御嶽山の七合目まで続いています。御嶽山が育んだ水や緑に触れながら森林浴・バードウォッチングなどを満喫することができます。

御嶽山は、三岳口（ロープウェイ）、王滝口、開田口の三箇所の登山ルートが整備されており、登山者や観光客が多く訪れます。このため、七月から十月までの観光客が多数訪れる時期は、グリーンサポートスタッフ（GSS）を活用した高山植物保護パトロールを実施しています。活動内容は、立

入禁止地区へ入り込む人への指導、ゴミ等の回収、高山植物の説明等を行っています。以前と比べると観光客のマナーが良くなりモラルも向上していると思います。が、少数ですが立入禁止区域に入り込む人もいることから継続していく必要があると考えています。今年、噴火により立入規制されていた頂上までのルートが、九月二十六日から十月八日までの間規制解除され、多数の登山者が訪れ頂上までが渋滞するほどでした。

木曾町と上松町の境界にそびえる木曾駒ヶ岳のパトロールは、高山植物保護、登山道整備、貸付地（登山道）確認等のため駒ヶ岳森林事務所と合同で行っています。パトロール

を機に登山道の安全確保に努めているところ

です。当森林事務所の職員は森林官一



御嶽山 二の池

人の体制で、生産・造林請負事業の監督、境界巡検、各種調査や巡視などの業務を、隣接する森林事務所職員とも連携し行っています。

これからの季節は寒暖差や気候条件が厳しくなることから安全対策を万全に、署、関係機関、地域住民と連携をとりながら無事故・無災害で業務を進めていきたいと考えています。

■未来の担い手へのメッセージ

日々現場を歩きながら、この先何十年もの森林の姿を想像しながら次世代につながる森林づくりにも少しでも貢献していることにやりがいを感じています。一緒に林業を盛り上げていきましょう。



駒ヶ岳をパトロール中の筆者

【森林でのお仕事紹介コーナー（森林・林業）】

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の植林や間伐などを行う森林・林業事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。



信州上小森林組合

西入 慎也

(二〇〇九年入社)



かわいくガッツポーズ「がんばるぞ！」(西入りさん)

■事業の概要

請負事業・森林環境保全整備事業

業(保育間伐活用型)

ほか 北山)

発注者・東信森林管理署

当地域はカラマツ発祥の地域であり、本契約も生産材積の九割がカラマツで、特に育成受光伐一八・一二鉢一、二四〇立方は

林齢九十五年を超えており、「信州プレミアムカラマツ」(規格林齢八十年以上 径級三〇センチ以上の良質材)の生産に貢献することができました。

本事業を効率よくまた適期に実施するため、エリアを区分け事業種分けし、五班(一班四〜七人)で安全作業に努め、事業を進めています。

■現場での役割・魅力

現在は国有林の活用型保育間伐事業に取り組んでいます。面積が広く予定出材数量も多いため五人の班員全員で、無災害で工期までに無事に終わらせるという目標をもって日々従事しているところです。

組合では、支所ごとに四〜七人の班で編成されており、その班で一つの現場に入り、仕事をするシステムになっています。私は今年二月から班長を任され、日々悪戦苦闘



班長中心に作業前の指差し呼称「ゼロ災でいこうヨシ！」

しながらも、気の合った仲間と毎日楽しく仕事をしています。また、一人では辛い厳しい時も、仲間がいるので乗り越えることができます。一つの現場を班全員で協力して、一つの目標に向かっていくのでやりがいも生まれます。

今、林業への関心が高まっているにも関わらず、収入が決して多くはないこの業界にあつて、私はまあまあ納得の所得があり、組合にはここ数年若い人が入ってきています。森林組合、地域が活性化し、産業自体が疲弊している林業の活性化に繋がっていけば良いと思います。

■森林・林業の世界に

入ったきっかけ 働いていた自動車関係の工場が、リーマンショックにより仕事量が激減し、失望した私は、新しく取り組める仕事を探していました。そんな時、学生時代に共に野球部で汗を流した大親友の申龍浩君から、勤めている森林組合のことを教えて貰い、色々話を聞いて興味を持ち、採用に応募しました。

最初の頃は、今までの部品加工とは全く違う、森林づくりという自然相手の仕事に戸惑いました。しかし、先輩方に毎日指導していただいたおかげで、現在もやりがいを感じながら無事に仕事を続けられています。この世界に入るきっかけを作ってくれた友人、今まで私に指導していただいた先輩方には感謝しています。これからも、安全作業で日々努力していきたいと思えます。

■未来の担い手へのメッセージ

かなり過酷で厳しい労働環境ですが、他の仕事にはない魅力があります。林業の中にも様々な仕事があり、危険を伴う仕事が多いですが、正しい知識と技術を身につければ安全に仕事をする事ができます。

皆さんも林業を職業にしてみたいかがでしょう。



集材木を土場に降ろす様子

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の林道や治山工事などを行う林業土木事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。

シリーズ
「林業土木業界からの便り」

国土防災技術株式会社 長野支店

伴 博史
(二〇二一年入社)



現地で観測作業を行う伴さん

■事業の概要

調査業務：地すべり調査および

治山施設点検整備調

査（伊那総合治山

事業所 小塩）

発注者：中部森林管理局

長野県下伊那郡大鹿村内の「小塩」地区で地すべり調査や既存の施設の健全度評価を行っています。

「小塩」地すべりは全国でもかなり大きなサイズの地すべりで、地すべり施設以外にも昭和二十年代から谷止工などの治山施設が施工されてきた場所です。平成に入り本格的に地すべり機構解析が行われ、地すべりの安定化に向けた調査・工事が行われています。

■現場での役割・魅力

現場での作業は、地すべり動態観測のために、現地に設置した計器からデータを回収し、結果をまとめていきます。同時に、現地に新たな変状がないかといったチェックも行い、観測データと合わせて地すべり解析を行っています。

今回の調査では、治山施設の点検も同時に実施し、過去に施工された施設の状況について調べていきます。「小塩」地区は、先人の方々が地すべりを止めるため様々な施設を計画・施工しており、いまでも地すべりの安定化に寄与しています。調査という形ではあり

ますが、こういった色々な施設を見られることは現場作業を行う上での魅力の一つだと思います。

■林業土木の世界に入ったきっかけ

私は大学から長野県に来ており、森林について学んでいました。大学時代の学びを活かしてといえは聞こえは良いですが、気づけば就職も森林や防災に関わる仕事についていました。

森林に関わると必然的に外に出る作業が多く、外で何かをすることの方が好きだったことが大きいかもしれません。と言いながらも工期が近づくとも内業が増えるのはこの業界の定めですが。



排水トンネル内の状況
(集水井からの排水)

■未来の担い手へのメッセージ

まだ私自身若いつもりでいます。が：森林業界（土木含め）としては若手の育成が大きな課題と思

ます。やはり、危険・きつい・きかないといったイメージは未だに強いかもしれません。とは言ってもやってみると楽しい部分もあります。

森林に関わる仕事は、普段の生活では目に見えない部分も大きいですが、適切な施業や土木工事によって山を安定させていることで下流の安心・安全に繋がっています。そういった視点で調査に臨みたいものです。



現地踏査に向かう様子（筆者ほか若手社員）



上旬

① 2日 チャオ御岳スノーリゾートオープン予定 (御岳自然休養林内)
 (岐阜署 高山市)

御嶽山のゴンドラ山頂駅からのロングクルージングが楽しめます。安定公売が続き初級者でも楽しめるコースです。

② 1月6日まで TWIN ILLUMINATION 2018 アルプス一選の煌めき
 (中信署 国営アルプスあづみの公園 安曇野市・大町市・松川村)

堀金・穂高地区では、日本一長い光のトンネル、大町・松川地区では、日本一多い光のハートのイルミネーションが楽しめます。期間中は各種イベントも開催されます。

③ 2月上旬頃まで (飛来は10月中旬から4月頃) 白鳥の越冬
 (中信署 安曇野市)

安曇野市の冬の風物詩 コハクチョウの飛来が市内の犀川白鳥湖、御宝田遊水

池など犀川周辺で始まっています。初めて白鳥が安曇野を訪れて三十五シーズン目を迎えます。

④ 1・8・15・22・24日 「下呂温泉花火ミュージカル」
 (岐阜署 下呂市)

下呂温泉の冬の澄みきった夜空をステージに、約七千から一万発もの特殊花火が音楽にあわせて舞い踊ります。



⑤ 1日～15日 遠山の霜月祭り
 (南信署 飯田市)

飯田市南信濃、上村地区の各神社で、飯田市の遠山郷に伝わる湯立て神楽が奉納されます。神々の面をつけた舞人が登場し、太鼓や笛に合わせて踊りながら、釜の湯を素手で払う湯切りが行われます。

開催場所…長野県飯田市 南信濃地区 諏訪神社、上村地区 正八幡宮ほか

⑥ 12月上旬から オープン
 (中信署)

秋の紅葉が散りゆくと、山々からは雪

とともに冬の足音が聞こえてきます。中信署の管内には、初級者でも安心な広いゲレンデ、中級者から上級者が楽しめるバリエーション豊かなスキー場が揃っています。

⑦ 7日 高鷲スノーパークオープン予定
 (岐阜署 郡上市)

初心者から上級者・ファミリイまで楽しめる多彩なコース楽しめアクセスも良好です。

⑧ 7日 エコーバレースキー場オープン予定
 (東信署 長和町)

標高が高く、高い晴天率、滑りやすい雪質がサイコーです。

⑨ 8日 ブランシユたかやまスキー場オープン予定
 (東信署 長和町)



三六十度のパノラマビューが楽しめます。スキー専用のスキー場です。また、日本最大級の雪遊び広場があります。

⑩ 8日 開田高原マイアスキー場オープン予定
 (木曾署 木曾町)

日本でもトップクラスのパウダースノーと、御嶽山や乗鞍岳を眺めることができる雄大なパノラマは気分爽快。最長三、二〇〇メートルのゲレンデではスノーボードでカービングを楽しむ利用者も多いが、ファミリイから上級者まで対応しているコース設定が魅力です。

⑪ 9日 ダイナランドスキー場オープン予定
 (岐阜署 郡上市)

西日本最大級のスキー場。全二十コースが楽しめます。ゲレンデイルミネーションも登場

⑫ 9日 めいほうスキー場オープン予定
 (岐阜署 郡上市)

山頂からの五、〇〇〇メートルのロングコース全十二コースピギナーからエキスパートまで大満足です。

中旬

⑬ 14日 やぶはら高原スキー場オープン予定
 (木曾署 木祖村)

国道十九号線から一〇分、ストレスを感じることなくスキー場へのアクセスが可能。本格的なパウダースノーと奥木曾

に広がる大自然を全身で感じることができ
ます。

⑭15日 おんたけ2240スキー場オー
プン予定 (木曽署 王滝村)

中央アルプスの大パノラマを眼前に、
スノーパフォーマンズの醍醐味を満喫！
標高の高さを活かした極上のパウダース
ノーをお楽しみください。

⑮15～16日 御料館林業遺産認定記念企
画 (木曽署 木曽町)

御料館が今年五月に林業遺産として認
定されたことを記念して開催されます。
林業に関する貴重な資料の展示、木曽式
伐木運材図会に関する講演会(十五日)
が予定されています。



下旬

⑯21日 ひるがの高原スキー場オープン
予定 (岐阜署 郡上市)

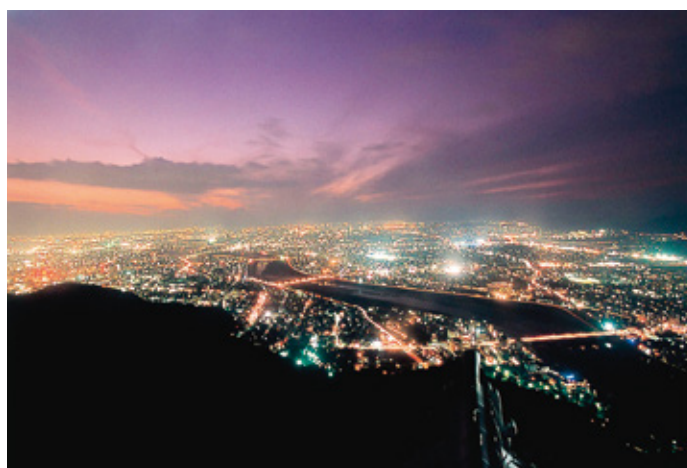
交通アクセスが最高、初心者向けの
コースはゲレンデでデビューに最適、
キッズパークやスノーラフティング、子

供の雪遊びにも最適。

⑰22～24日 「岐阜城パノラマ夜景」の
開催 (岐阜署 岐阜市)

岐阜城(金華山国有林の山頂)から眺
める夜景は、オーロラに例えられる大パ
ノラマが広がります。

夜景期間中、岐阜城のライトアップは
減灯され、金華山ロープウェイは夜間割
引運賃で毎日午後八時半まで運行されま
す。



⑱22日 スターシユプールの緑風リゾート
ひだ流葉オープン予定 (飛騨市 飛騨署)

二〇一八二〇一九シーズンの営業開
始予定です。

⑲23日 宇奈月温泉スキー場開き式(安
全祈願祭) (富山署 黒部市)

宇奈月温泉スキー場のオープンにあわ
せ、安全祈願祭として「スキー場開き
式」が行われます。式後は、振舞も予定
されています。

⑳23日 郡上ヴァカンス村スキー場オー
プン予定 (岐阜署 郡上市)

白山連峰の雄大なロケーションを見な
がら、初級中級者向けの緩やかな斜面で
基本をマスターするのに絶好です。

㉑31日 御嶽神社里宮(木曽署 王滝村)

深い森の奥に凛とした巖かなる御嶽信
仰の聖地「御嶽神社里宮」では十二月
三十一日夜、除夜祭に合わせて参道に竹
製の灯籠が灯されます。



編 集 長 だ よ り あなたの写真を！お待ちしております

☆寒くなってきました。山からは雪の便りも聞かれ、来月は各所のスキー場もオープンします。是非白銀の世界へお出かけください。

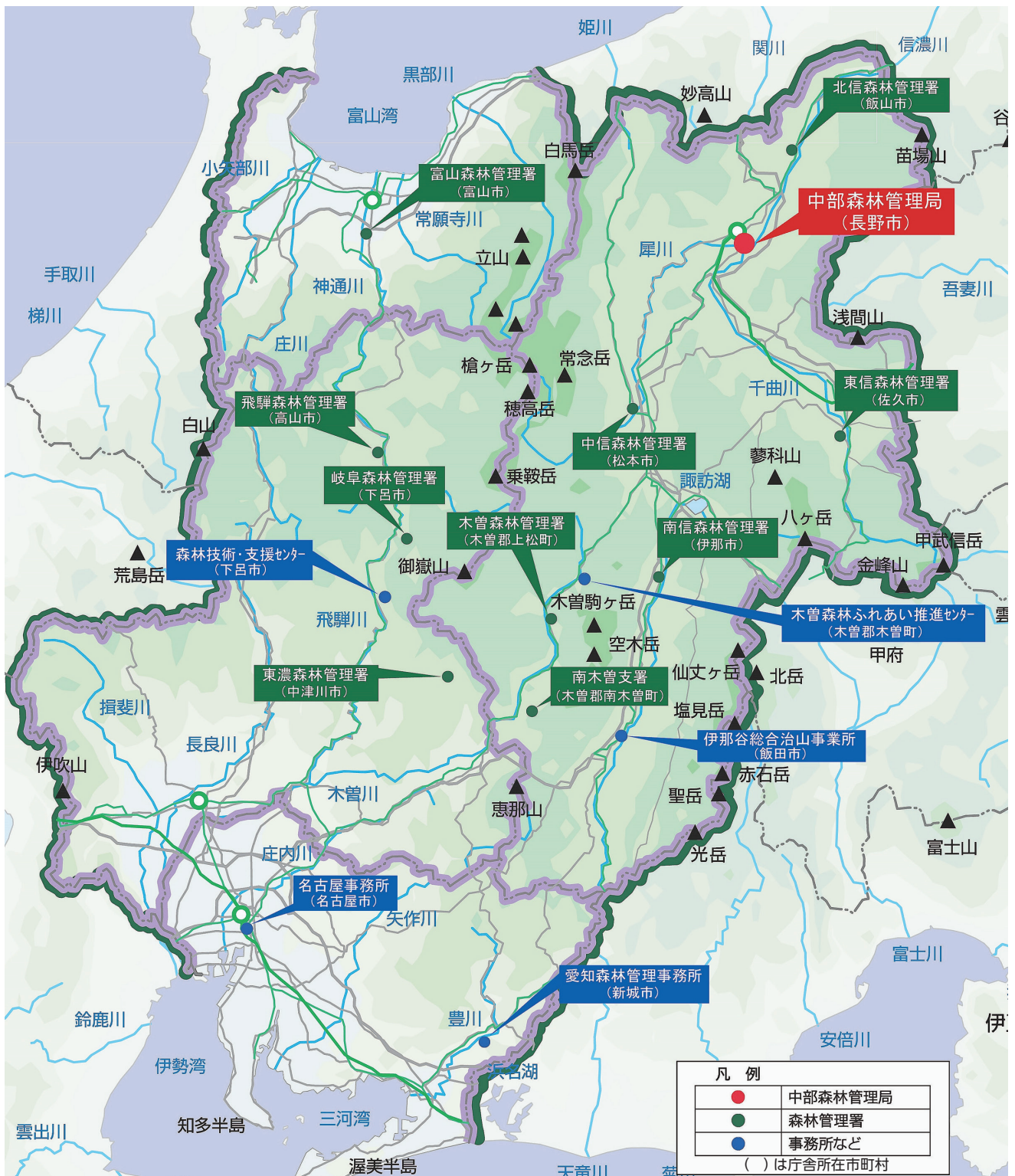
☆冬の森林は、また違った表情を見せてくれます。国有林へ出掛けてみませんか。ステキな写真が撮れましたら migoro@maff.go.jpまで電子メールでお送りください。(1メール容量2MB以内)

☆特にステキな写真は、広報誌「中部の森林」の表紙に掲載し紹介させていただきます。あなたの写真が来月号の

表紙を飾るかもしれません。投稿をお待ちしております。ご投稿には、氏名又はニックネーム、整理番号(12月なら①～②のいずれか)、撮影日を記入してお送りください。感想やコメントを添えていただいても構いません。

☆森林でのお仕事紹介コーナー、学生さんの進路検討の参考になると嬉しいです。

出前での就職説明会もできますので、お気軽に最終ページのお問合せ先へご相談ください。



お問い合わせ先 中部森林管理局 〒380-8575 長野県長野市大字栗田715-5 TEL 050-3160-6507 FAX 026-236-2657

名古屋事務所	〒456-8620	愛知県名古屋市中熱田区熱田西町1-20	TEL 050-3160-6660	FAX 052-683-9269
富山森林管理署	〒939-8214	富山県富山市黒崎字塚田割591-2	TEL 050-3160-6080	FAX 076-424-4934
北信森林管理署	〒389-2253	長野県飯山市大字飯山1090-1	TEL 050-3160-6045	FAX 0269-62-4144
中信森林管理署	〒390-0852	長野県松本市島立1256-1	TEL 050-3160-6050	FAX 0263-47-4754
東信森林管理署	〒384-0301	長野県佐久市白田1822	TEL 050-3160-6055	FAX 0267-82-6959
南信森林管理署	〒396-0023	長野県伊那市山寺1499-1	TEL 050-3160-6060	FAX 0265-72-7774
木曽森林管理署	〒399-5604	長野県木曽郡上松町正島町1-4-1	TEL 050-3160-6065	FAX 0264-52-2582
※南木曽支署	〒399-5302	長野県木曽郡南木曽町吾妻3859-39	TEL 050-3160-6070	FAX 0264-57-2686
飛騨森林管理署	〒506-0031	岐阜県高山市西之一色町3丁目747-3	TEL 050-3160-6085	FAX 0577-34-8932
岐阜森林管理署	〒509-3106	岐阜県下呂市小坂町大島1643-2	TEL 050-3160-6090	FAX 0576-62-2503
東濃森林管理署	〒508-0351	岐阜県中津川市付知町8577-4	TEL 050-3160-5675	FAX 0573-82-2109
愛知森林管理事務所	〒441-1331	愛知県新城市庭野字東萩野49-2	TEL 0536-22-1101	FAX 0536-23-2254
森林技術・支援センター	〒509-2202	岐阜県下呂市森876-1	TEL 050-3160-6095	FAX 0576-25-2420
木曽森林ふれあい推進センター	〒397-0001	長野県木曽郡木曽町福島1250-7	TEL 0264-22-2122	FAX 0264-21-3151
伊那谷総合治山事業所	〒395-0001	長野県飯田市座光寺5152-1	TEL 050-3160-6075	FAX 0265-22-0149

※南木曽支署は平成31年1月（予定）まで庁舎工事のため上記に移転中です。